

平成30年度水産加工業等販路回復取組支援事業（第3次募集） 採択結果

復興水産加工業販路回復促進センター

所在地		事業者	取組概要
青森県	八戸市	三富産業株式会社	スルメイカの漁獲量の減少やアニサキスの問題等から冷凍イカの需要が増えており、さらにその冷凍イカを用いたイカソーメンの製造を要望されていることから、盛り付け装置を導入し、完全自動化をすることで、販売先の依頼に応える体制を整え、販路の回復に繋げる。
岩手県	下閉伊郡 岩泉町	有限会社早野商店	自社の製造工程の効率化と業務用商品とOEM商品の受注の幅を広げるため、機器を導入し、短時間で安定的に製造ができ、さらに、ニーズが高まっているカップ容器入り商品の開発を行い、ギフトのみならず自家需要商品としての市場にも広げることで、販路回復へ繋げる。
	宮古市	株式会社川秀	消費者ニーズの変化、原料の高騰等から少量個食パックの要望が来ているが、現有機器では要望の数量の生産が対応できないことから、機器等の導入により、現状の労働力でも増産対応する体制を整備し、顧客ニーズに素早く対応することで、販路回復を図る。
	大船渡市	東和水産株式会社	需要の多い海外注文を中心に国内販売にも対応できる体制を整えるため、生産ラインに連動した脱パンラインの導入により、量産体制と高品質製品の出荷体制の強化を図ることにより販路回復を図る。
宮城県	名取市	株式会社ささ圭	地域量販店等での販路開拓を行うことで着実に売上を伸ばしてきたが、包装工程で製造が滞ることにより要望の生産ができないことから、さらなる販路開拓ができない状況にある。この状況を打開するため、機器を導入することで、「量販店」のみならずその他の業界に対しても販路回復・開拓を目指す。

※本事業は、復興水産加工業等販路回復促進事業実施要綱（平成23年11月21日付け23水漁第1445号農林水産事務次官依命通知）に基づき実施する国庫補助事業です。